

# ふいさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



好みの衣幾度も着し山笑ふ

南桜町 宮腰 幸子

啓誓やぱひつり買ふ妻の供

仲町 玉野 研一

目に見えぬものにおびえても春

緑町 池田 良子

思ふよ叶ふ喜び風光る

西原町 児玉 久美子

春光や山いりせいに動き初む

西岡町 渋谷 みさ子

年重ね夢は身の丈風光る

西町 金澤 頼子

若人の明日へ息吹木の芽風

元町 印牧 安子

桃一枝活けて媪のひとり茶事

仲町 坂部 和子

芽吹きたる樹々のいなきや深呼吸

元町 西崎 弘子

病む友の笑顔嬉しや春陽さす

仲町 梅基 文子

露味噌の届き思案の旅ころ

旭町 大河 博子

休日の手土産水温む

西町 岸波 君江

愛猫の命は弥陀に春の月

西町 杉浦 とし枝

三月は断捨離と決め忙しなし

藤本町 鈴木 ゆき子

水温むかべに農曆夫の部屋

西岡町 高瀬 久美子

回復の見ゆる良人へキューリップ

東町 高橋 世津子

水温む化粧水たらぷりとつけむ

西町 文梨 清子

菜の花と風と遊びし浜離宮

仲町 芳賀 星子